

令和4年度「自己評価報告書」

社会福祉法人愛護会
第二東水沢保育園

1. 保育目標

- 健康で明るい子ども
- 自分のことは自分でできる子ども
- 他人のことを考え、協力できる子ども
- 何故だろうと考え、物事に関心を持つ子ども
- 自然に親しみ、愛することができる子ども
- 人の話をしっかり聞き、自分の意思を言葉で話せる子ども
- 豊かな心を持つ子ども

2. 施設運営の重点課題

- 保育内容の充実と特色ある保育
- 食育指導の充実
- 保護者支援への取り組み
- 子育て支援活動の推進
- 地域との交流の充実
- 保育の質の向上と職員の資質向上

評価の基準

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組んでいるが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

3. 評価の項目と取り組み状況

自己評価項目			評価	取り組み状況
1	保育内容の充実と特色ある保育	体験による学びから、一人ひとりの発達を促す。また、和太鼓を通して日本の文化に触れる。	B	・一人ひとりの発達過程や特性を捉え、発達や生活の連続性に配慮した保育を進めるように努めた。 ・コロナ感染防止に努めながら、子ども達の自然体験や感動体験を多く持てる活動に取り組むことができた。 ・太鼓「風と妖精」は、5歳児が取り組み、運動会、卒園式で保護者に披露した。
2	食育指導の充実	風の子農園活動を通して食への興味、関心を高める。	A	・風の子農園での野菜の栽培は、クラスごとに様々な野菜を育て、生長や収穫、クッキングなどにより、食への関心につなげることができた。 ・文化祭にて「幼児期に不足しがちな栄養素の上手な取り方」をテーマに給食メニューの展示やレシピの紹介を行った。
3	保護者支援への取り組み	保護者の保育参加をすすめる、園と家庭との共通理解に努める。	B	・コロナの影響により、行事等の内容変更や日程変更があったが、保護者の皆さまの協力により、中止することなく開催し、子ども達の園での様子を見ていただくことができた。 ・マチコミメールの活用により、家庭との連絡をスムーズに進めることができた。

4	子育て支援活動の推進	各種事業の充実をはかり、保育情報の発信を行う。	C	一時預かり保育事業、放課後児童健全育成事業などの各種事業について、情報の発信を行ったが、コロナの影響により、受け入れが困難な時期もあった。
5	地域との交流の充実	様々な地域の方、関係機関との交流、連携を図る。	B	・コロナの影響は大きく、今年度も地域の方々との交流は難しかったが、地域のお豆腐屋さんの協力を得て、店舗に伺いお話を聞かせて頂き、手作り豆腐のおいしさを感じることができた。 ・市内の福祉事業所さんから依頼を受け、作品展に子ども達の作品と一緒に展示させていただくことができた。 ・水沢信用金庫さんのフロアに園の活動の様子を掲示させていただき、地域の方へお知らせの場とした。
6	保育の質の向上と職員の資質向上	自己評価の学習を行い、保育の振り返りから保育の質の向上に努める。	B	・毎月の職員研修で保育の振り返りを行い、自己評価ガイドラインハンドブックを用い、自己評価の基盤となる「子ども理解」に努めた。 ・「人権擁護のためのチェックリスト」を活用し、保育専門職としての資質向上を目指した。